



HOKKAIDO
UNIVERSITY

講義「人工知能」 第10回 AI関連ニュース

北海道大学大学院情報科学研究院
情報理工学部門 複合情報工学分野
調和系工学研究室 准教授 山下倫央

<http://harmo-lab.jp>

tomohisa@ist.hokudai.ac.jp

2024年5月9日(木)

❖ バイデン氏がA Iは「甚大リスクで恐ろしい」と発言 管理徹底の重要性強調、積極活用も

- <https://www.sankei.com/article/20240509-4KJAWSBFKRM3RFCHFZQWLVVQUQ/>

- 2024年5月9日 産経新聞

- バイデン米大統領は8日、CNNテレビのインタビューで、人工知能（A I）について「甚大なリスクがある」と懸念を示し、管理徹底の重要性を強調した。「人類史上、最も重大な技術革新だ」と述べ、積極的に活用する方針も示した。

- バイデン氏は、A Iが将来的に人類の英知を追い越すとの専門家の予想もあると紹介し「恐ろしい」と発言。一方で、がんの治療などで目覚ましい成果を上げる可能性があるとし「A Iを確実に管理していかなければならない」と訴えた。

❖ 国連 中満事務次長 AIの軍事利用 “国際的な規制の策定急ぐ”

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240508/k10014442431000.html>

- 2024年5月9日 NHK NEWS WEB

- AI = 人工知能の軍事利用をめぐって各国で開発が進むなか、標的の選定から攻撃までを人間の指示なしに行う兵器が登場する懸念が強まっています。こうした中、国連の軍縮部門トップ、中満泉事務次長がNHKのインタビューに応じ国際的な規制の策定を急ぐ考えを示しました。

- AIの軍事利用をめぐっては、ガザ地区やウクライナでAIを利用した兵器などが投入されているほか、各国で開発が進んでいます。

❖ 国連 中満事務次長 AIの軍事利用 “国際的な規制の策定急ぐ”

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240508/k10014442431000.html>
- 2024年5月9日 NHK NEWS WEB
- なかでも標的の選定から攻撃までを人間の指示なしに行うLAWS＝自律型致死兵器システムと呼ばれる兵器については、国際的なルールがないことから、去年、国連のグテーレス事務総長が再来年までに法的拘束力のある枠組みを採択するよう加盟国に呼びかけています。
- ただ規制に向けた議論について中満事務次長は「軍事大国はできれば自分たちが先を行ってLAWSの開発で優位を持ち、交渉における立ち位置をより優位なものにしていこうという意図がある」と述べ、すでに開発を進めている国とその他の国との溝があると指摘しました。

❖ 国連 中満事務次長 AIの軍事利用 “国際的な規制の策定急ぐ”

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240508/k10014442431000.html>

- 2024年5月9日 NHK NEWS WEB

- そのうえでテロ組織などがAIを悪用するおそれもあるとして「すべての国家、すべての人々に対して、非常に大きな悪影響があるだろうという共通の問題意識というのをまず構築していく」と述べ、国際社会の機運の醸成に努めながらルール作りを急ぐ考えを示しました。

❖ 「生成AI」 偽情報と規制 “規制強化すべき”61% NHK世論調査

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240503/k10014439661000.html>

- 2024年5月3日 NHK NEWS WEB

- 人工知能「生成AI」について、日本では規制する法律はありませんがインターネット上で偽の動画や画像が問題になるケースが増えています。
- これについてNHKの憲法に関する世論調査でどう対応すべきか聞いたところ「規制を強化すべき」が61%、「今のままでよい」が8%でした。

❖ 「生成AI」 偽情報と規制 “規制強化すべき”61% NHK世論調査

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240503/k10014439661000.html>
- 2024年5月3日 NHK NEWS WEB

- 憲法学が専門で、生成AIにも詳しい慶應義塾大学の山本龍彦教授は、今回の世論調査の結果について「生成AIで作られたディープフェイクと呼ばれるなりすましの偽動画は、積み上げてきた自分のイメージが一気に崩されるという非常に強い人格権の侵害にあたるものだ。こうした偽動画の脅威が一般的に認知されてきた結果だとみられる」と指摘しています。
- また、規制のあり方については、「生成AIは適切に使えば人間にとって有用な道具になっていくかもしれないが、全く規制がないまま使っていくとリスクや不安が増大していく可能性があり、規制は適切に行われるべきだ。人権や民主主義を踏まえた憲法レベルでの議論を加速させる必要がある」と述べました。

❖ 「生成AI」偽情報と規制 “規制強化すべき”61% NHK世論調査

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240503/k10014439661000.html>

- 2024年5月3日 NHK NEWS WEB

- そのうえで、「若い世代はほかの世代に比べて生成AIの利活用に寛容で柔軟に使っていこうという考え方もあり、どこまで規制が必要なのかは慎重に考えなければいけない。まずは生成AIが作成したものだを表示していくことで透明性を確保していくことを機軸に、選挙や教育のような重要な領域から規制を考えていく必要がある」と話していました。

❖ オープンAI 自社生成AIで作った画像 検知する技術の開発を発表

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240508/k10014442781000.html>

- 2024年5月8日 NHK NEWS WEB

- 生成AI、ChatGPTを開発するアメリカのオープンAIは、自社の生成AIでつくられた画像を検知する技術を開発していることを明らかにしました。生成AIでつくられた巧妙な偽画像が拡散するのを防ぐねらいがあるものとみられます。

❖ オープンAI 自社生成AIで作った画像 検知する技術の開発を発表

- <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240508/k10014442781000.html>

- 2024年5月8日 NHK NEWS WEB

- ことし1月下旬にSNS上ではアメリカの人気歌手テイラー・スウィフトさんの生成AIが使われたとみられる偽画像が拡散しました。

- ネット上ではこうした偽画像が出回り、大きな社会問題になっています。

- こうした中、ChatGPTを開発するオープンAIは7日、この会社の生成AIで作られた画像を検知する技術を開発していると発表しました。

- 98%の精度で生成AIによる画像かどうかを判断できるとしています。

❖ 願書のAI使用に判定システム 大学入試の総合型選抜などで

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/57ba7faa1ac063e09b7a2edcdf73bab1094be9f>

- 2024年5月9日 KYODO

- 大手予備校河合塾が、各大学の総合型選抜（旧AO入試）などで、高校生が提出した願書や志望理由書に生成人工知能（AI）を使用していないか判定するシステムを開発した。
- 学力試験を課さない入試が増える中で、受験生による不適切なAI利用の恐れも指摘されており、対策として効果を上げるのか注目されそうだ。

❖ 願書のAI使用に判定システム 大学入試の総合型選抜などで

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/57ba7faa1ac063e09b7a2edcdf73bab1094be9f>
- 2024年5月9日 KYODO
- 河合塾によると、米グーグルが開発した生成AIについて公開されている判定プログラムを新システムの開発に活用した。高校生が記入した志望理由や、長所・短所といった記入欄ごとに範囲を指定し、生成AIを使った文章ならではの「癖」に反応できるようにした。総合型選抜用の既存システムで提携している大学向けに提供する。
- 500～千字以上の文章ならかなり高い精度で判断できる。だが、AIを使っていないのに「使った可能性がある」と誤判定される確率は5%ほどあるとしている。
- 開発の背景にあるのが、総合型選抜や学校推薦型選抜（旧推薦入試）の拡大だ。大学によっては生成AI利用の制限を明示している。